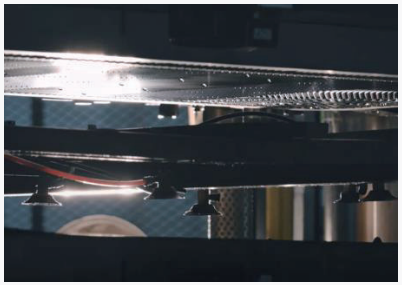
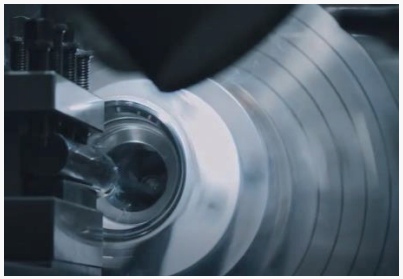
証券コード：6247

2022年3月期
第２四半期決算
説明会
資料





2021年12月1日

株式会社日阪製作所

目次

■ 会社概要 ・・・ 2

■ 2022年3月期第２四半期決算の概要 ・・・ 4

■ 2022年3月期決算の見通し ・・・ 15

■ 中期経営計画「G-20」の概要 ・・・ 20

■ 中期経営計画「G-20」取り組み施策 ・・・ 25

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

会社概要

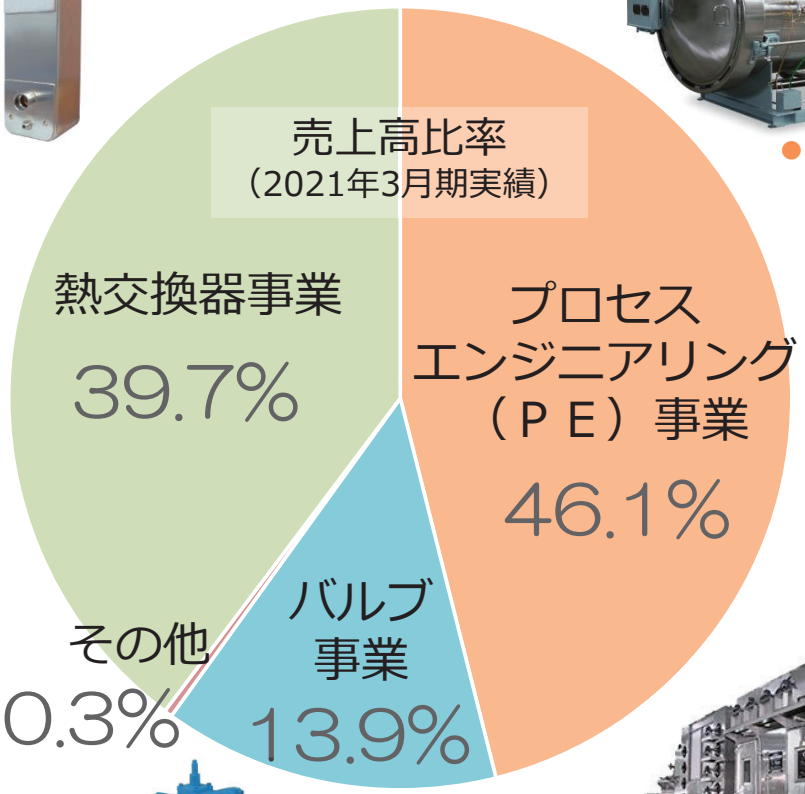
社名	株式会社 日阪製作所 HISAKA WORKS, LTD.
創業年月	1942年5月（昭和17年5月）
事業内容	産業機械製造販売業（熱交換器、蒸発・蒸留・凝縮装置、染色仕上機器、食品機器、医薬機器、ボールバルブなど）、発電事業
資本金	41億5千万円
発行済株式総数	32,732,800株
株式上場	東京証券取引所　市場第一部
売上高	284億円（連結／2021年3月期）
従業員数	925名（連結）
関係会社数	11社（海外関係会社含む）
国内拠点	大阪本社、鴻池事業所、青梅事業所 東京・名古屋・九州・北九州支店、北海道・千葉・尾道営業所
海外拠点	マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア、中国、サウジアラビア、韓国

※2021年3月末現在

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

日阪グループの事業構成

●プレート式熱交換器



●レトルト調理殺菌装置

●連続液体滅菌装置

●液流染色機

●太陽光発電事業
（その他）

●ボールバルブ

●全自動連続殺菌冷却装置
（旭工業㈱）

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

2022年３月期第２四半期

決算の概要

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

1-①. 決算の概要（対前年同期）

（百万円）

	2021年３月期 第２四半期		2022年３月期 第２四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	14,254	―	**17,307**	―	3,053	21.4%
うち、海外受注高	1,633		4,136		2,503	153.2%
売上高	13,888	―	**13,961**	―	72	0.5%
うち、海外売上高	2,198		1,889		▲ 308	▲ 14.0%
営業利益	866	6.2%	**701**	5.0%	▲ 165	▲ 19.1%
経常利益	1,050	7.6%	**937**	6.7%	▲ 112	▲ 10.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	686	4.9%	**689**	4.9%	3	0.5%

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

1-②. 決算の概要（対計画）

（百万円）

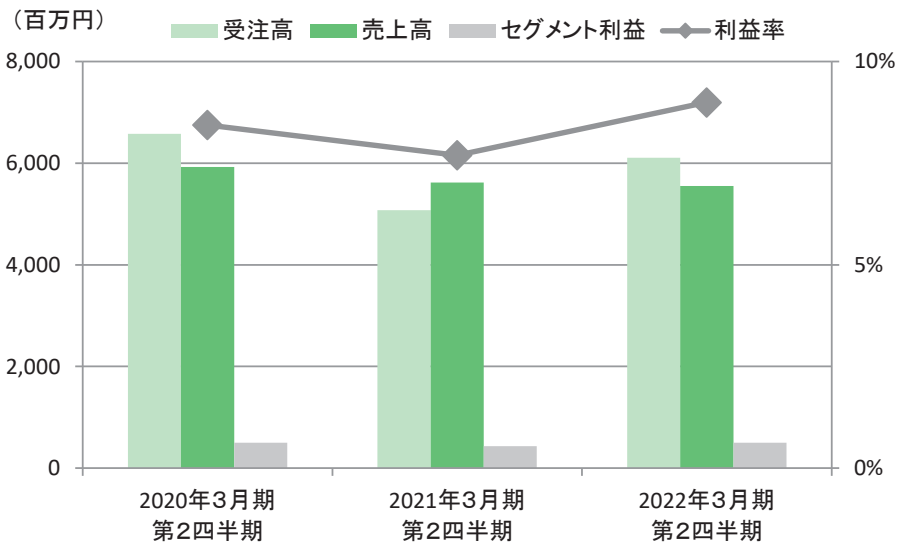
	2022年３月期 第２四半期		2022年３月期 第２四半期		計画比	
	計画	利益率	実績	利益率	差額	達成率
受注高	15,500	—	**17,307**	—	1,807	111.7%
売上高	15,500	—	**13,961**	—	▲ 1,538	90.1%
営業利益	800	5.2%	**701**	5.0%	▲ 98	87.7%
経常利益	950	6.1%	**937**	6.7%	▲ 12	98.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	660	4.3%	**689**	4.9%	29	104.5%

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

2-①. 熱交換器事業（対前年同期）

（百万円）

	2021年３月期 第２四半期		2022年３月期 第２四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	5,074	—	**6,104**	—	1,030	20.3%
うち、海外受注高	589		1,611		1,022	173.5%
売上高	5,619	—	**5,551**	—	▲ 67	▲ 1.2%
うち、海外売上高	712		1,145		432	60.7%
セグメント利益	432	7.7%	**499**	9.0%	67	15.5%



<受注高>
○ 半導体や産業機械向け、船舶の新造案件が好調
○ プラント向けのメンテナンス関連を受注

<売上高>
○ 半導体向けなどの中小型汎用品が好調
× 前年度の受注低迷の影響により船舶向けが低調

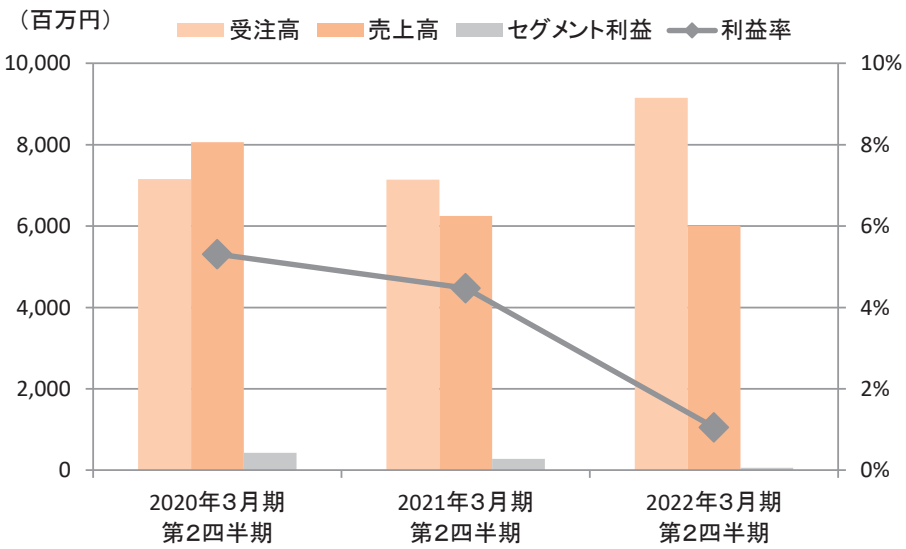
<セグメント利益>
○ セールスミックスの改善

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

2-②. プロセスエンジニアリング事業（対前年同期）

（百万円）

	2021年３月期 第２四半期		2022年３月期 第２四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	7,145	―	**9,153**	―	2,008	28.1%
うち、海外受注高	873		2,293		1,420	162.5%
売上高	6,248	―	**6,006**	―	▲ 241	▲ 3.9%
うち、海外売上高	1,217		380		▲ 837	▲ 68.8%
セグメント利益	279	4.5%	**63**	1.1%	▲ 216	▲ 77.4%



<受注高>
○ 医薬機器で栄養剤向け大口プラント案件
○ 染色仕上機器で海外向けの大口案件
△ 食品機器の引き合いは回復基調

<売上高>
○ 食品機器でプラント案件や大口案件
△ 医薬機器の一部でプラント工期の遅れによる納期変更
× 前年度の受注低迷の影響により染色仕上機器が低調

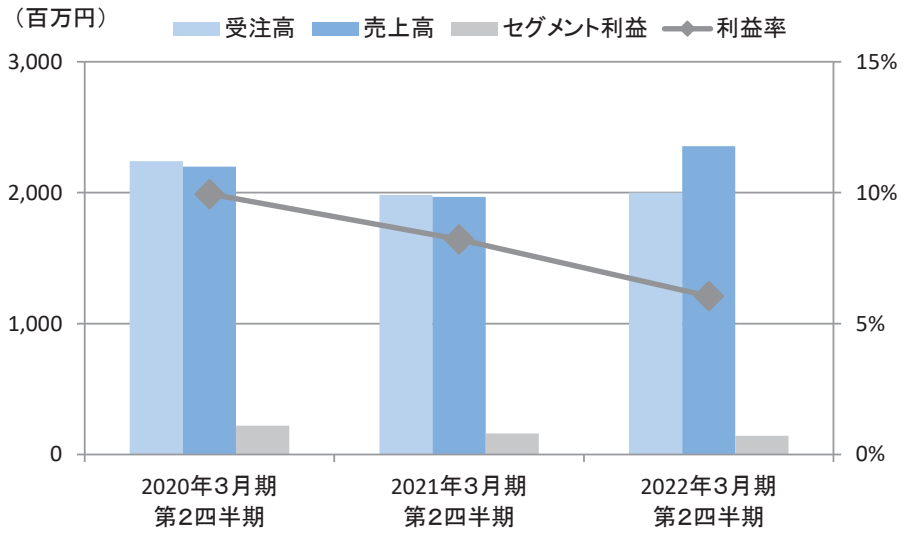
<セグメント利益>
× 案件の長期化やコスト増

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

2-③. バルブ事業（対前年同期）

（百万円）

	2021年３月期 第２四半期		2022年３月期 第２四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	1,983	—	**2,002**	—	18	0.9%
うち、海外受注高	170		232		61	35.8%
売上高	1,969	—	**2,356**	—	386	19.6%
うち、海外売上高	267		363		96	35.9%
セグメント利益	161	8.2%	**142**	6.0%	▲ 19	▲ 12.0%



<受注高>
○ 鉄鋼向けで大口案件を受注
○ 二次電池向けが好調に推移

<売上高>
○ 化学向けの大口案件を売上計上
○ 二次電池向けが好調に推移

<セグメント利益>
× 高採算案件の減少

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

3-①. セグメント別の業績（受注高、売上高）

（百万円）

	2021年３月期 第２四半期		2022年３月期 第２四半期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	5,074	35.6%	6,104	35.3%	1,030	20.3%
プロセスエンジニアリング事業	7,145	50.1%	9,153	52.9%	2,008	28.1%
バルブ事業	1,983	13.9%	2,002	11.5%	18	0.9%
その他	51	0.4%	47	0.3%	▲ 4	▲ 8.1%
受注高	**14,254**	100%	**17,307**	100%	**3,053**	**21.4%**
熱交換器事業	5,619	40.4%	5,551	39.8%	▲ 67	▲ 1.2%
プロセスエンジニアリング事業	6,248	45.0%	6,006	43.0%	▲ 241	▲ 3.9%
バルブ事業	1,969	14.2%	2,356	16.9%	386	19.6%
その他	51	0.4%	47	0.3%	▲ 4	▲ 8.1%
売上高	**13,888**	100%	**13,961**	100%	**72**	**0.5%**

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

3-②. セグメント別の業績（営業利益、受注残高）

（百万円）

	2021年３月期 第２四半期		2022年３月期 第２四半期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	432	47.5%	499	67.4%	67	15.5%
プロセスエンジニアリング事業	279	30.7%	63	8.5%	▲ 216	▲ 77.4%
バルブ事業	161	17.8%	142	19.3%	▲ 19	▲ 12.0%
その他	36	4.0%	35	4.8%	▲ 1	▲ 3.9%
小計	910	100%	740	100%	▲ 169	▲ 18.7%
調整額	▲ 43	—	▲ 39	—	4	—
営業利益	**866**	**—**	**701**	**—**	**▲ 165**	**▲ 19.1%**
熱交換器事業	3,477	23.6%	3,683	21.1%	205	5.9%
プロセスエンジニアリング事業	10,187	69.2%	12,644	72.5%	2,457	24.1%
バルブ事業	1,064	7.2%	1,109	6.4%	44	4.2%
その他	—	—	—	—	—	—
受注残高	**14,728**	100%	**17,436**	100%	**2,707**	**18.4%**

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

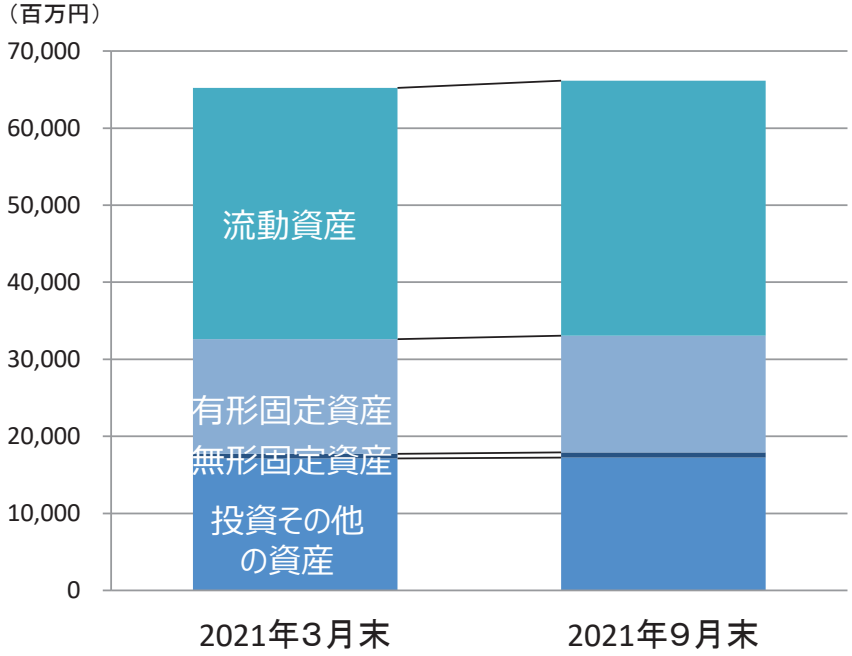
3-③. セグメント別の業績（対計画）

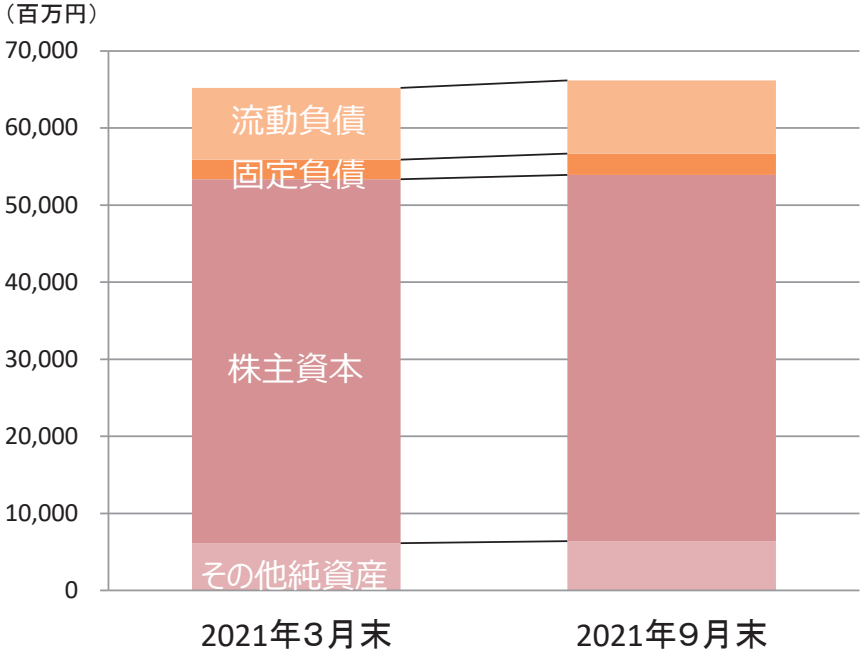
（百万円）

	2022年３月期 第２四半期 計画	構成比	2022年３月期 第２四半期 実績	構成比	計画比 差額	計画比 達成率
熱交換器事業	5,800	37.4%	6,104	35.3%	304	105.3%
プロセスエンジニアリング事業	7,800	50.3%	9,153	52.9%	1,353	117.4%
バルブ事業	1,850	12.0%	2,002	11.5%	152	108.2%
その他	50	0.3%	47	0.3%	▲ 2	94.2%
受注高	**15,500**	100%	**17,307**	100%	**1,807**	**111.7%**
熱交換器事業	5,500	35.5%	5,551	39.8%	51	100.9%
プロセスエンジニアリング事業	7,800	50.3%	6,006	43.0%	▲ 1,793	77.0%
バルブ事業	2,150	13.9%	2,356	16.9%	206	109.6%
その他	50	0.3%	47	0.3%	▲ 2	94.2%
売上高	**15,500**	100%	**13,961**	100%	**▲ 1,538**	**90.1%**
熱交換器事業	410	42.1%	499	67.4%	89	121.8%
プロセスエンジニアリング事業	400	41.1%	63	8.5%	▲ 336	15.8%
バルブ事業	130	13.4%	142	19.3%	12	109.6%
その他	33	3.4%	35	4.8%	2	107.6%
小計	973	100%	740	100%	▲ 232	76.1%
調整額	▲ 173	—	▲ 39	—	133	—
営業利益	**800**	**—**	**701**	**—**	**▲ 98**	**87.7%**

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

4. 資産・負債・純資産の状況





（百万円）

	2021年３月末	2021年９月末	増減額
流動資産	32,597	33,106	509
有形固定資産	14,863	15,137	274
無形固定資産	615	670	55
投資その他の資産	17,124	17,254	129
固定資産合計	32,603	33,062	459
資産合計	65,200	66,168	968

（百万円）

	2021年３月末	2021年９月末	増減額
流動負債	9,306	9,490	183
固定負債	2,558	2,781	223
負債合計	11,865	12,271	406
株主資本	47,210	47,511	300
その他純資産	6,124	6,386	261
純資産合計	53,335	53,897	562
負債純資産合計	65,200	66,168	968

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

5. 連結キャッシュ・フローの状況

（百万円）

	2021年３月期 第２四半期	2022年３月期 第２四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,959	**1,123**
投資活動によるキャッシュ・フロー	329	**▲ 396**
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 381	**▲ 437**
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	26
現金及び現金同等物の増減額	1,915	315
現金及び現金同等物の期首残高	11,344	13,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,259	**14,237**

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

2022年3月期

決算の見通し

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

6-①. 通期計画の概要

（百万円）

	2021年３月期 通期		2022年３月期 通期		増減		2022年３月期 第２四半期	
	実績	利益率	計画	利益率	増減額	増減率	実績	達成率
受注高	28,165	—	**31,500**	—	3,334	11.8%	**17,307**	54.9%
売上高	28,437	—	**31,000**	—	2,562	9.0%	**13,961**	45.0%
営業利益	1,409	5.0%	**1,700**	5.5%	290	20.6%	**701**	41.3%
経常利益	1,765	6.2%	**1,900**	6.1%	134	7.6%	**937**	49.3%
親会社株主に帰属する当（四半）期純利益	1,212	4.3%	**1,320**	4.3%	107	8.9%	**689**	52.3%

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

6-②. 通期計画の概要（セグメント別）

（百万円）

	2021年３月期 通期		2022年３月期 通期		増減		2022年３月期 第２四半期	
	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率	実績	達成率
熱交換器事業	10,405	36.9%	11,600	36.8%	1,194	11.5%	6,104	52.6%
プロセスエンジニアリング事業	13,307	47.3%	15,900	50.5%	2,592	19.5%	9,153	57.6%
バルブ事業	4,358	15.5%	3,900	12.4%	▲ 458	▲ 10.5%	2,002	51.3%
その他	93	0.3%	100	0.3%	6	6.7%	47	47.1%
受注高	**28,165**	**100%**	**31,500**	**100%**	**3,334**	**11.8%**	**17,307**	**54.9%**
熱交換器事業	11,298	39.7%	11,000	35.5%	▲ 298	▲ 2.6%	5,551	50.5%
プロセスエンジニアリング事業	13,100	46.1%	15,600	50.3%	2,499	19.1%	6,006	38.5%
バルブ事業	3,945	13.9%	4,300	13.9%	354	9.0%	2,356	54.8%
その他	93	0.3%	100	0.3%	6	6.7%	47	47.1%
売上高	**28,437**	**100%**	**31,000**	**100%**	**2,562**	**9.0%**	**13,961**	**45.0%**
熱交換器事業	771	49.9%	930	47.7%	158	20.6%	499	53.7%
プロセスエンジニアリング事業	469	30.4%	690	35.4%	220	47.0%	63	9.2%
バルブ事業	237	15.4%	270	13.8%	32	13.6%	142	52.8%
その他	66	4.3%	61	3.1%	▲ 5	▲ 8.4%	35	58.2%
小計	1,544	100%	1,951	100%	406	26.3%	740	38.0%
調整額	▲ 135	—	▲ 251	—	▲ 115	—	▲ 39	—
営業利益	**1,409**	**—**	**1,700**	**—**	**290**	**20.6%**	**701**	**41.3%**

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

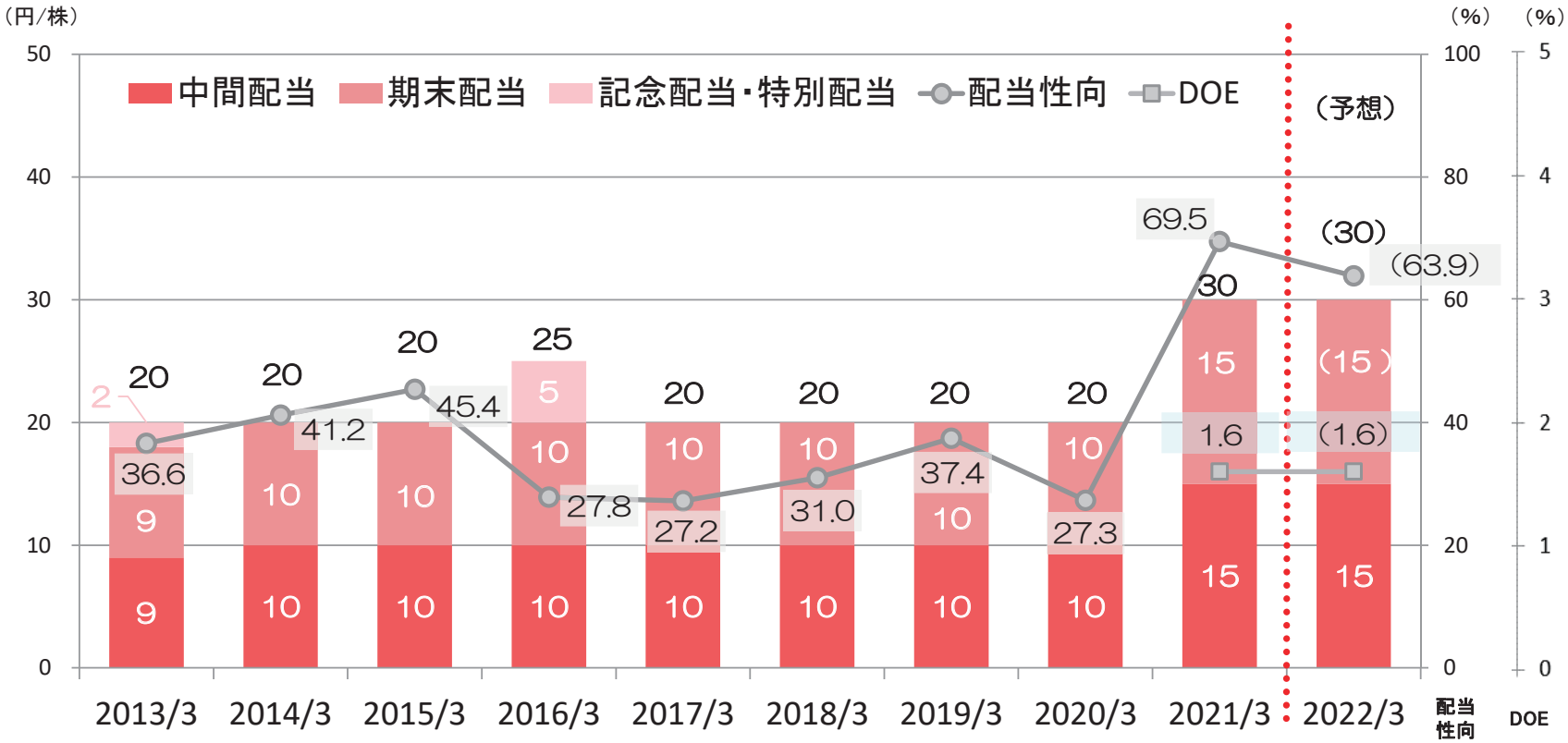
７．設備投資・減価償却の計画

（百万円）

	2019年３月期 実績	2020年３月期 実績	2021年３月期 実績	2022年３月期 上期実績	2022年３月期 計画
設備投資	1,890	3,260	1,424	**870**	**3,500**
内容	熱交換器事業の金型、バルブ事業の機械設備、その他事業の工場及び工場用地取得　など	熱交換器事業のソフトウエア、青梅事業所工場建設、生駒事業所の事業用地取得　など	熱交換器事業のソフトウエア、プロセスエンジニアリング事業・バルブ事業の機械設備、生駒事業所の造成工事　など	各事業の設備及びソフトウェアの増強・更新、熱交換器事業の基幹システム構築、生駒事業所の造成工事・建設工事 など	
減価償却	1,154	1,137	997	**551**	**1,170**

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

8. 配当の計画



【利益配分の基本方針】

全てのステークホルダーの皆様に対し「公平」且つ「公正」を念頭に置きつつ、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対する適正な利益の還元を基本方針としています。

具体的には、内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結純資産及び連結業績の状況を勘案し、**連結純資産配当率(DOE)1.5%以上**を目途に継続的・安定的な配当に努めます。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

中期経営計画

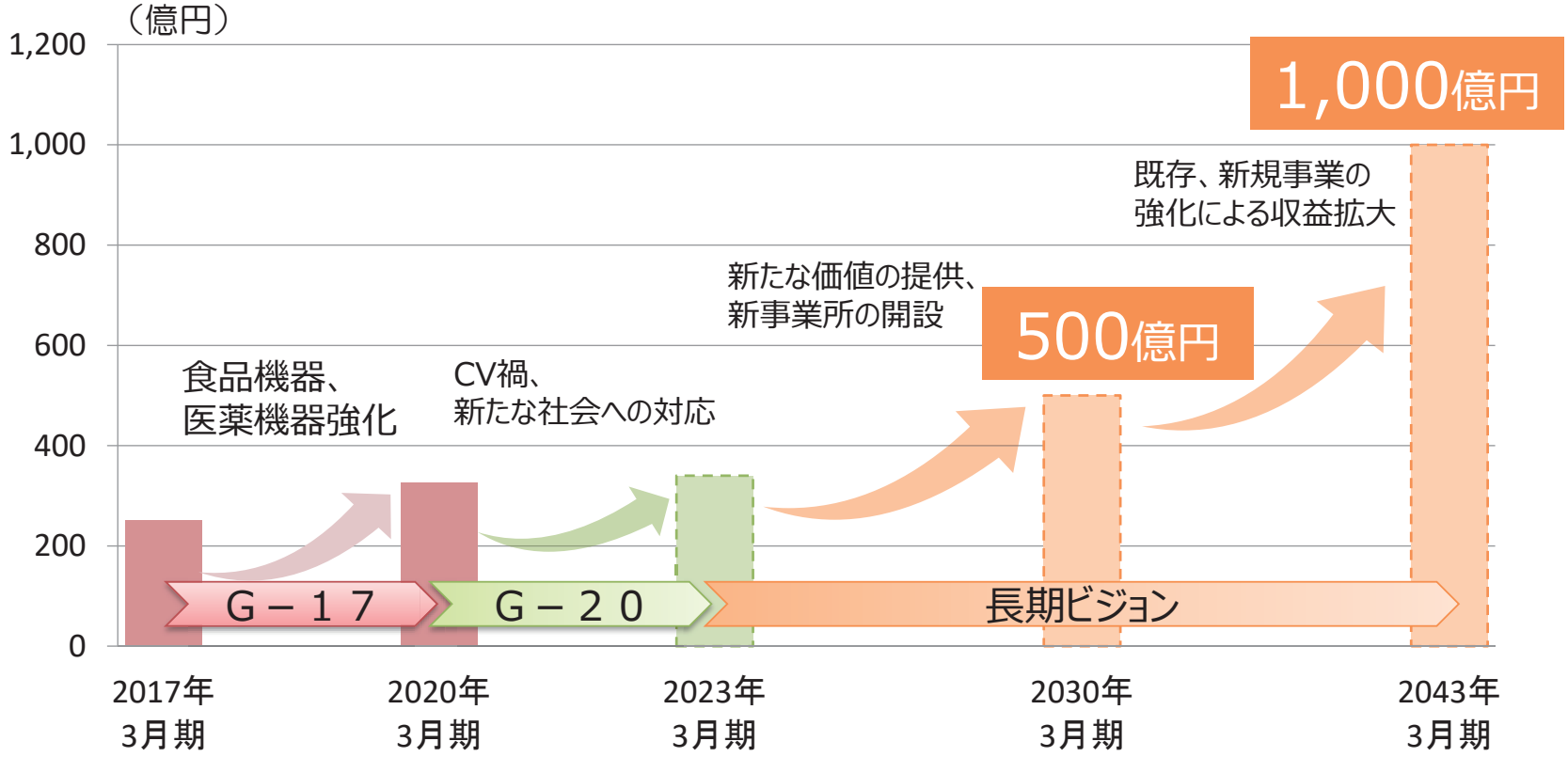
「G-20」の概要

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

9. 長期売上目標

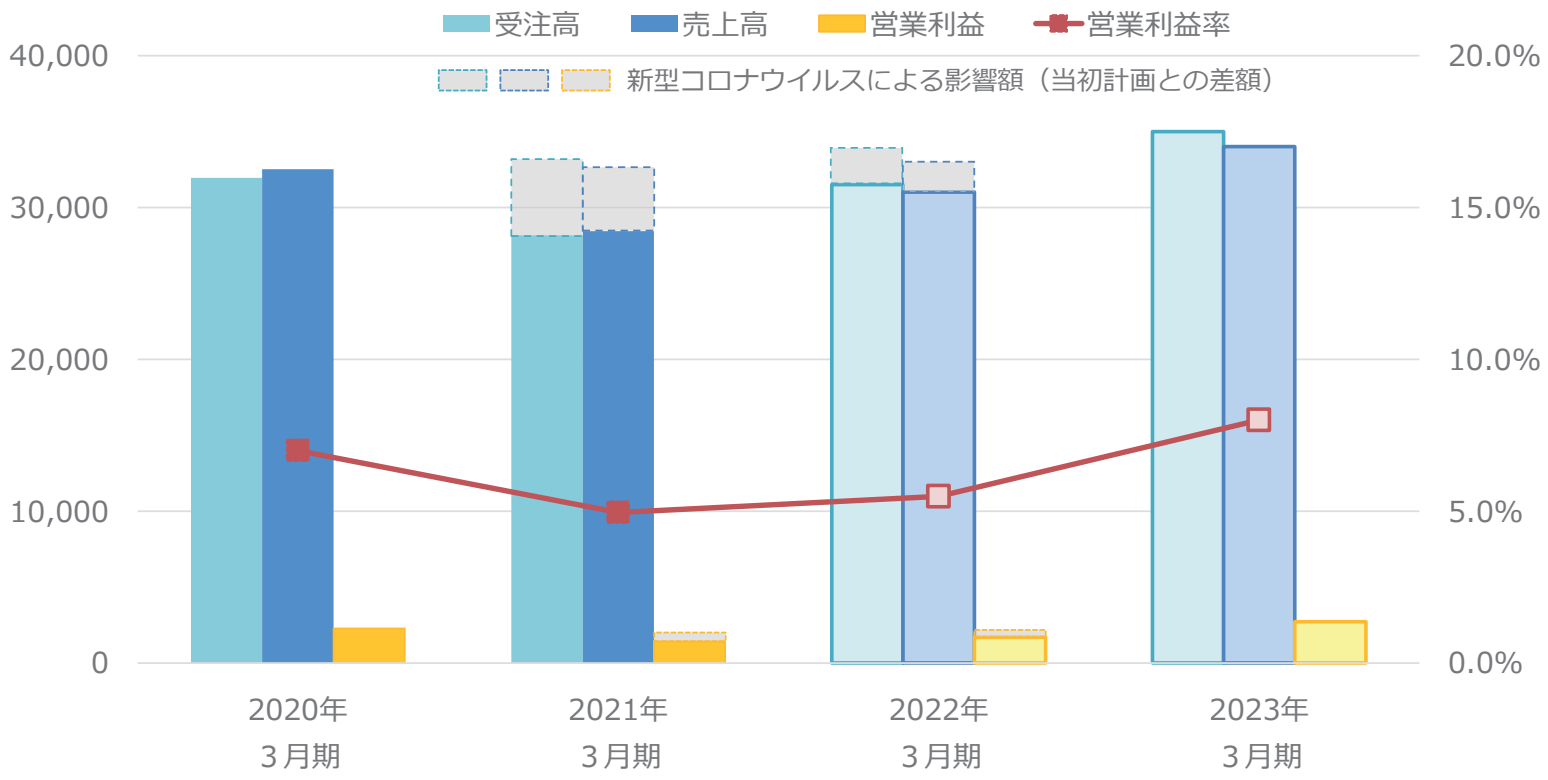
2043年3月期（創業100周年）売上高目標を1,000億円に設定。
Ｍ＆Ａや新事業所開設、新規事業創出などの成長戦略を推進。

長期ビジョンにおける売上目標



All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

10-①.「G-20」連結業績目標



G－１７ → G－２０

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

10−②.「G-20」連結業績目標

●2022年３月期の計画は新型コロナウイルスの影響を考慮し修正

●2023年３月期の計画（G-20の目標）は変更なし

（百万円）

	G－１７ 最終年度 2020年３月期 実績 A	G－２０				増減率 B-A / A
		2021年３月期 実績	2022年３月期 当初計画 （感染拡大前に策定）	2022年３月期 修正計画 （2021/5/14 公表）	2023年３月期 計画 B	
受注高	31,952	28,165	34,000	31,500	35,000	9.5%
売上高	32,511	28,437	33,000	31,000	34,000	4.6%
営業利益	2,274	1,409	2,300	1,700	2,720	19.6%
営業利益率	7.0%	5.0%	7.0%	5.5%	8.0%	＋1.0pt
経常利益	2,573	1,765	2,500	1,900	2,920	13.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,080	1,212	1,700	1,320	2,000	▲ 3.9%
ＲＯＥ ※	4.1%	2.3%	3.3%	2.5%	3.8%	▲0.3pt

※：2020年3月期は特別利益により当期純利益が増加したことにより、ROEが高水準となっております。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

10-③. セグメント別業績目標

（百万円）

	G－１７ 最終年度 2020年３月期		G－２０ 最終年度 2023年３月期		増減	
	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	12,368	38.7%	13,200	37.6%	831	6.7%
プロセスエンジニアリング事業	14,981	46.9%	17,400	49.6%	2,418	16.1%
バルブ事業	4,524	14.2%	4,400	12.5%	▲ 124	▲ 2.8%
その他	78	0.2%	100	0.3%	21	27.8%
小計	31,952	100%	35,100	100%	3,147	9.8%
調整額	—	—	▲ 100	—	▲ 100	—
受注高	**31,952**	**—**	**35,000**	**—**	**3,047**	**9.5%**
熱交換器事業	12,041	37.0%	12,800	37.5%	758	6.3%
プロセスエンジニアリング事業	15,957	49.1%	16,900	49.6%	942	5.9%
バルブ事業	4,434	13.6%	4,300	12.6%	▲ 134	▲ 3.0%
その他	78	0.3%	100	0.3%	21	27.8%
小計	32,511	100%	34,100	100%	1,588	4.9%
調整額	—	—	▲ 100	—	▲ 100	—
売上高	**32,511**	**—**	**34,000**	**—**	**1,488**	**4.6%**
熱交換器事業	887	37.3%	1,200	41.5%	312	35.2%
プロセスエンジニアリング事業	975	41.1%	1,300	45.0%	324	33.2%
バルブ事業	471	19.8%	350	12.1%	▲ 121	▲ 25.8%
その他	43	1.8%	40	1.4%	▲ 3	▲ 7.2%
小計	2,377	100%	2,890	100%	512	21.5%
調整額	▲ 103	—	▲ 170	—	▲ 66	—
営業利益	**2,274**	**—**	**2,720**	**—**	**445**	**19.6%**

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

中期経営計画

「G-20」

主な取り組み施策

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

11−①. 熱交換器事業の取り組み

きっと・もっと・ずっと - 熱で未来を創造する The Thermal Solution Company を掲げ、熱に関する社会課題を解決できる**業界No. 1 企業**を目指す。

熱ソリューション

- **顧客の熱に関する課題を解決する「熱ソリューション」の提供を推進。**

セグメントマトリクス組織

- 前中計で実施したセグメントマトリクス組織の深化とセグメント間の連携強化。

ＳＤＧｓ

- SDGsの考え方に基づく新製品・技術・サービスの開発。

グローバルモノづくり活動

- 日本、マレーシア、中国におけるグローバルモノづくり活動の推進。

海外事業強化

- 東アジア、ASEAN、オセアニア、MENA(Middle East & North Africa)でのシェア拡大。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

熱交換器事業の概要

熱交換器事業は、様々な産業で不可欠となる、流体の加熱・冷却を行う「**プレート式熱交換器**」などを製造・販売しています。
お客様のプラント・設備の省エネ・省スペース・高効率運転に貢献しています。

＜主な使用分野＞

- 化学（電解ソーダ、石油化学など）
- 食品（牛乳、ビール、糖質澱粉など）
- 電力（軸受冷却水冷却器、オイルクーラーなど）
- 空調（冷暖房、給湯、地域冷暖房システムなど）
- 船舶（セントラルクーラー、潤滑油クーラーなど）
- 鉄鋼（高炉冷却、連鋳設備冷却など）
- 金属（精錬、炉体冷却水冷却器など）
- 半導体（超純水製造装置、半導体製造装置など）

＜日阪の強み＞

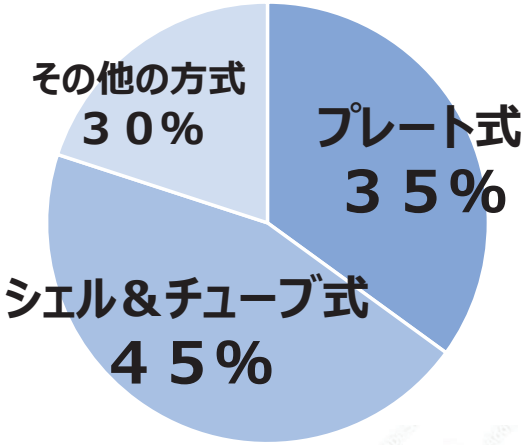
- 日本初のプレート式熱交換器を開発してから60年以上にわたりノウハウを蓄積。
- 国内最大手のプレート式熱交換器メーカーとして高品質・高機能の製品を製造。
- ４万トンプレス機（世界最大級）で世界でも類を見ない超大型プレートを製造。
- 熱交換器を本体ごと引き取り、新品同様にメンテナンスするサービス「まるごとぱっく」。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

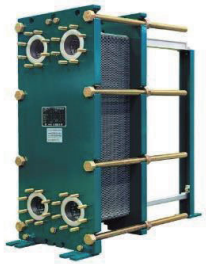
11-②. プレート式熱交換器の普及拡大への取り組み（熱交換器事業）

全溶接型プレート式熱交換器の販売拡大に注力

日本の熱交換器市場（725.5億円）



※矢野経済研究所調査資料より当社作成



プレート式熱交換器

シェル＆チューブ式熱交換器

タイプ別の特徴

タイプ	シェル＆チューブ式	プレート式	
		全溶接型	ガスケット型
サイズ	大型・重量	小型・軽量	小型・軽量
熱交換効率	×	○	◎
メンテナンス	×	○	◎
高温・高圧	◎	○	×
耐薬品性	○	○	※

※流体の種類やガスケットの材質などにより異なる。

ガスケット：一般的にパッキンと呼ばれる。液やガスが漏れないよう、プレートの間に挟むゴムや樹脂製のシール材。

●成熟市場である熱交換器市場で売上を拡大するために
競合となるシェル＆チューブ式熱交換器からの置き換えを狙う。

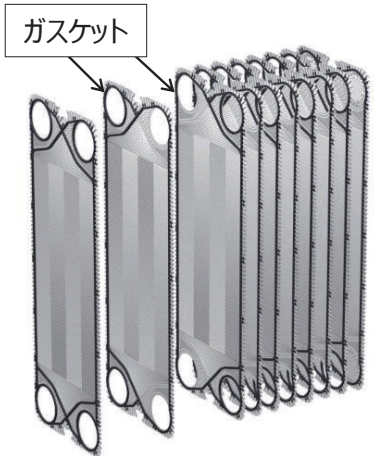
All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

11-③. プレート式熱交換器の普及拡大への取り組み（熱交換器事業）

ガスケット型と全溶接型、２種類のプレート式熱交換器の比較

ガスケット型プレート式熱交換器
（当社の主力製品）

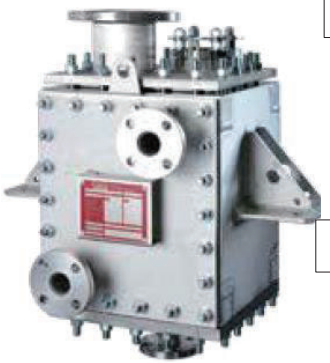
（外観）



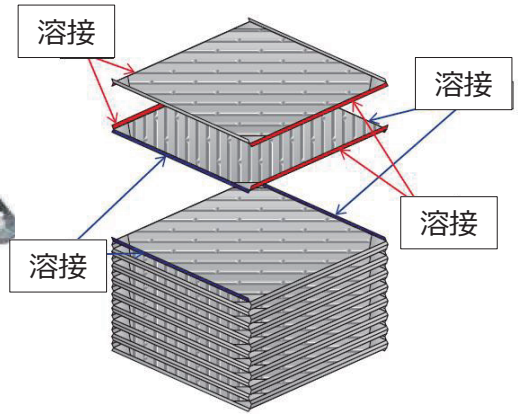
（内部構造）

プレート同士をゴムや樹脂製のガスケットで封止

全溶接型プレート式熱交換器



（外観）



（内部構造）

プレート同士を溶接により封止

●プレートを溶接することにより、より頑丈な構造を実現。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

11-④. プレート式熱交換器の普及拡大への取り組み（熱交換器事業）

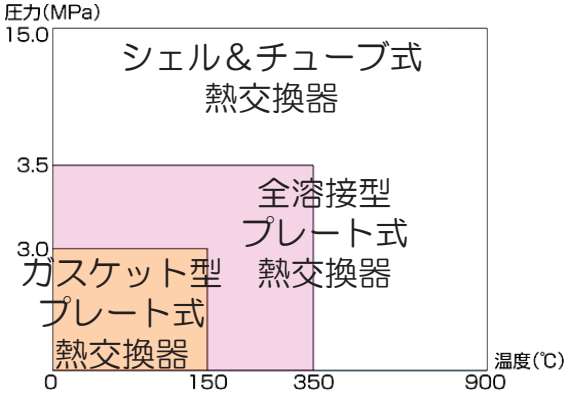
全溶接型プレート式熱交換器でシェル＆チューブ式の市場へ参入

使用可能領域拡大

＜溶接型（ガスケット不使用）であることのメリット※＞
※一部にガスケットを使用しています。

①あらゆる流体に対応
➡ゴムや樹脂製のガスケットを腐食させる化学品などにも使用可能。

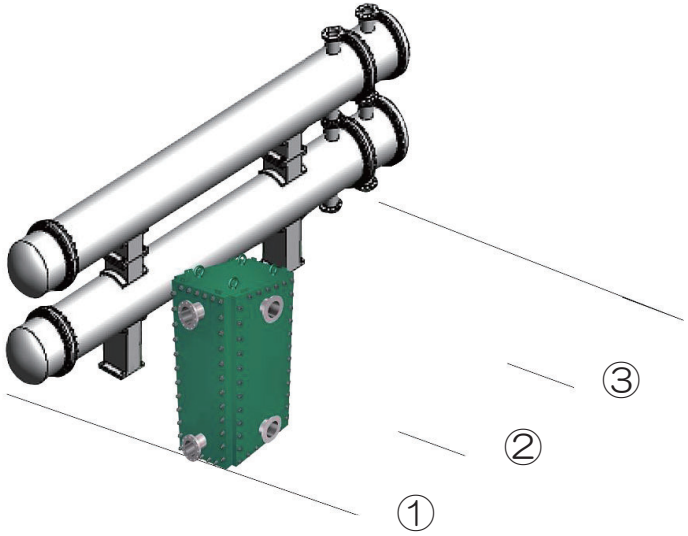
②高温・高圧に対応



軽量・コンパクト

＜プレート式であることのメリット＞

シェル＆チューブ式熱交換器に比べ
１／３程度の設置面積



●全溶接型プレート式熱交換器は、頑丈なシェル＆チューブ式と、熱交換の効率が高いプレート式熱交換器のメリットを併せ持つ。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

11-④. プレート式熱交換器の普及拡大への取り組み（熱交換器事業）

全溶接型プレート式熱交換器をラインアップし、新たな需要を喚起

今後参入していく業界の例

医薬／ファインケミカル業界向け

鉄鋼業界向け

ガスケット型プレート式熱交換器が採用されていなかった理由

- ガスケットが劣化する
- ガスケットに反応し不純物が生じる

➡シェル＆チューブ式熱交換器を使用

全溶接型プレート式熱交換器の特徴

タイプ	シェル＆チューブ式	プレート式	
		全溶接型	ガスケット型
サイズ	大型・重量	小型・軽量	小型・軽量
熱交換効率	×	◎	◎
メンテナンス	×	○	◎
高温・高圧	◎	○	×
耐薬品性	○	○	※

※流体の種類やガスケットの材質などにより異なる。

小型軽量で、メンテナンス性にも優れる全溶接型プレート式熱交換器への置き換えを提案。

- 他にも石油化学、環境（排水、汚泥処理）、製糖業界など幅広く販売を想定。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

12-①. プロセスエンジニアリング事業の取り組み

世の中で求められているもの、新しい価値となるものを第一に考え、
顧客の期待を超える**No. 1 の製品**と**No. 1 のサービス**を提供する。

新事業開発

- **時代に合わせたニーズを汲み取る新たな事業の開発。**

顧客ニーズへの対応

- 顧客企業の省人・省力・高品質生産ニーズに応える製品・システムの提供。

海外生産体制強化

- 中国子会社における生産体制強化。

グループ内連携強化

- 国内子会社との連携による食品機器・医薬機器に関する事業強化。

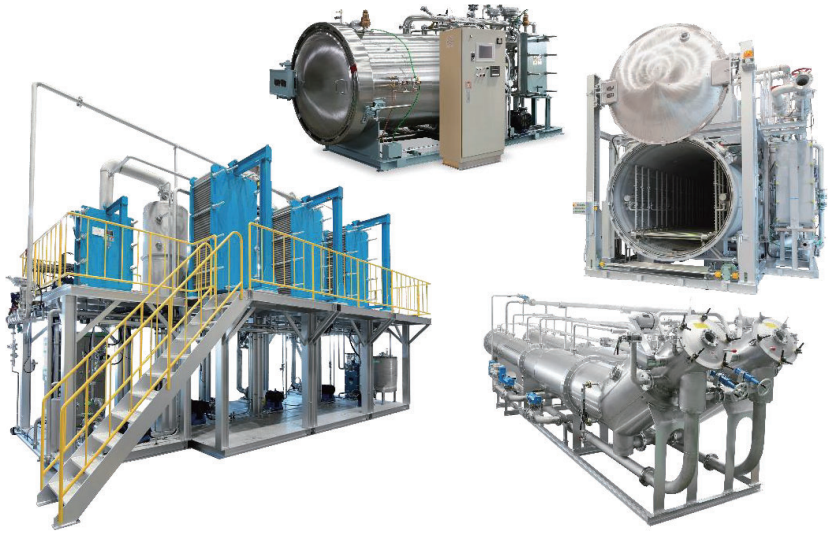
新事業所開設準備

- 生駒事業所（2023年度開設予定）での生産体制構築に向けた準備活動。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

プロセスエンジニアリング事業の概要

プロセスエンジニアリング事業（ＰＥ事業）は、**食品機器**、**医薬機器**、**染色仕上機器**の製造・販売を行っています。
また、機械単体だけではなく、**各種プラントの提案や保守管理**も行っています。



	食品機器	医薬機器	染色仕上機器
事業内容	食品・飲料の殺菌装置を中心として抽出や濃縮などの装置も扱っています。	医薬品・医療器具の滅菌装置や生薬の濃縮機器を扱っています。	衣料品やカーシートなどの繊維製品の染色仕上機器を扱っています。
日阪の強み	●1975年に開発したレトルト調理殺菌装置は、国内外で2,700台を超える納入実績。 ●店頭に並ぶレトルト食品の約70%は日阪の装置を使用。	●食品の殺菌技術から生まれた滅菌装置は、国内外の輸液バッグ・ボトルに使用。 ●国内で生産される点滴の輸液バッグのほとんどは日阪の装置が滅菌している。	●1966年に世界で初めて開発した液流染色機「サーキュラー」は、国内外で6,000台を納入。 ●日阪の装置は染色が難しい合成化学繊維にも対応。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

プロセスエンジニアリング事業（国内グループ会社）の概要

国内グループ会社のマイクロゼロ、旭工業、小松川化工機でも食品機器や医薬機器を製造販売しています。

マイクロゼロ株式会社

- 乳業、飲料、医薬業界向けダイヤフラムバルブの製造・販売
- 食品プラントの設計・施工
- 日阪製作所の殺菌技術とマイクロゼロのダイヤフラムバルブを組み合わせたプラントを設計

旭工業株式会社

- ロングライフチルド惣菜やカップゼリー、スパウト付きパウチ飲料向などの殺菌装置の製造・販売
- 日阪製作所にないタイプの殺菌装置を補完し、グループとして幅広いラインアップを顧客に提案

小松川化工機株式会社

- 酵母や乳酸菌、アミノ酸、抗生物質などの培養槽の製造・販売
- 食品などの乳化装置の製造・販売
- 大型培養槽の販売実績は国内トップクラス

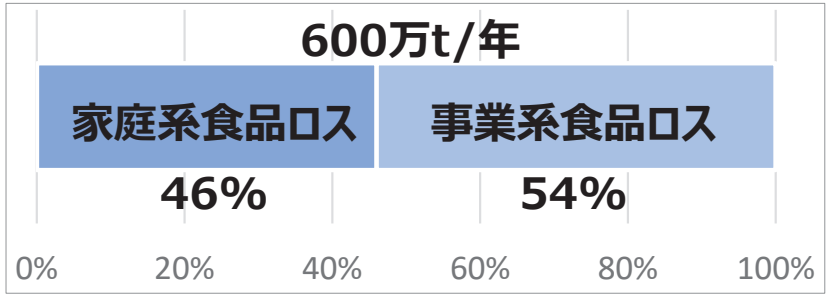
All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

12-②. 食品ロス削減への取り組み（プロセスエンジニアリング事業）

日本の食品ロス※は年間600万 t

※食べられるのに捨てられている食品（2018年度実績）

食品ロスの内訳と要因



※農林水産省ＷＥＢサイトより作成

家庭系食品ロス	事業系食品ロス
・賞味期限/消費期限切れによる廃棄 ・過剰除去 ・食べ残し	**・売れ残り（賞味期限/消費期限切れ）** ・規格外品 ・消費者の食べ残し

SDGsにおける食品ロスへの言及

目標12
持続可能な消費と生産のパターンを確保する

ターゲット12.3
2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品の損失を減少させる。

ターゲット12.5
2030年までに廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

- 食品ロスの主な要因は、店舗での売れ残りや家庭での手つかず食品。
- 賞味期限を延ばすことにより、廃棄される食品を減らすことができる。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

12-③. 食品ロス削減への取り組み（プロセスエンジニアリング事業）

賞味期限の長いＬＬＣ（ロングライフチルド）惣菜の市場は年々拡大

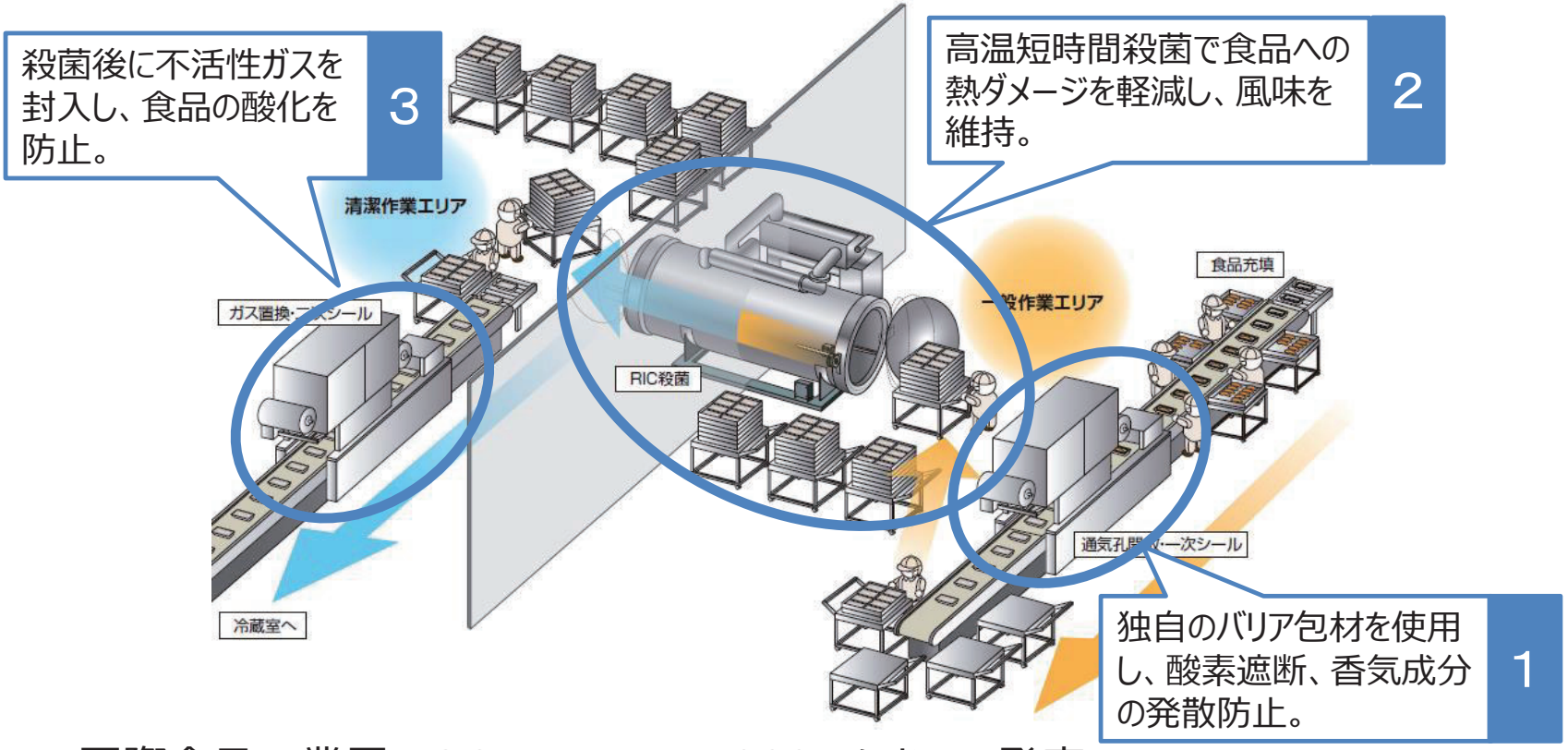
（一社）日本惣菜協会「2021年版惣菜白書」より 当社作成

- 高齢化・核家族化・女性の社会進出などライフスタイルの変化により大きく拡大。
- 特にコロナ禍による巣ごもり需要で内食向けの惣菜品は需要が拡大。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

12-④. 食品ロス削減への取り組み（プロセスエンジニアリング事業）

日阪の新しい殺菌システム「LC PACKシステム」は より高い殺菌性能で惣菜の賞味期限を延長



- 国際食品工業展 FOOMA JAPAN 2021 において発表。
- TV番組でも紹介され、引き合い多数。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

13-①. バルブ事業の取り組み

様々な業界に**No. 1 品質・性能**のボールバルブを提供し、
お客様の事業活動を通じて健全な社会作りに貢献する。

重点市場への営業強化

- **主要販売先である化学業界への受注を拡大するとともに重点市場への営業を強化。**

用途限定弁の強化

- 用途限定弁の販売強化によるシェア拡大。

ＳＤＧｓ

- 社会課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献できる製品の販売。

海外事業の強化

- 中国及びタイを中心としたASEAN地域への販売強化。

生産体制再構築

- さらなる売上拡大を目的とする鴻池事業所での生産体制再構築に向けた準備活動。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

バルブ事業の概要

バルブ事業は、様々な流体の制御に使われる「**ボールバルブ**」や「**ダイヤフラムバルブ**」などを製造・販売しています。
流体抵抗が小さく操作性が良いというメリットを活かし、幅広い分野で使用されています。

＜主な使用分野＞

- 化学（塗料、樹脂、ポリプロピレンなど）
- 製鉄（高炉の燃料吹き込み、冷却など）
- 紙・パルプ（パルプの調合、洗浄、漂白など）
- 環境（汚泥、ゴミ、下水処理設備など）
- 食品（チョコレート、食用油、調味料など）
- 二次電池（リチウムイオン電池、ニッケル水素電池）
- 電力・エネルギー（火力発電所灰処理、ボイラー設備など）

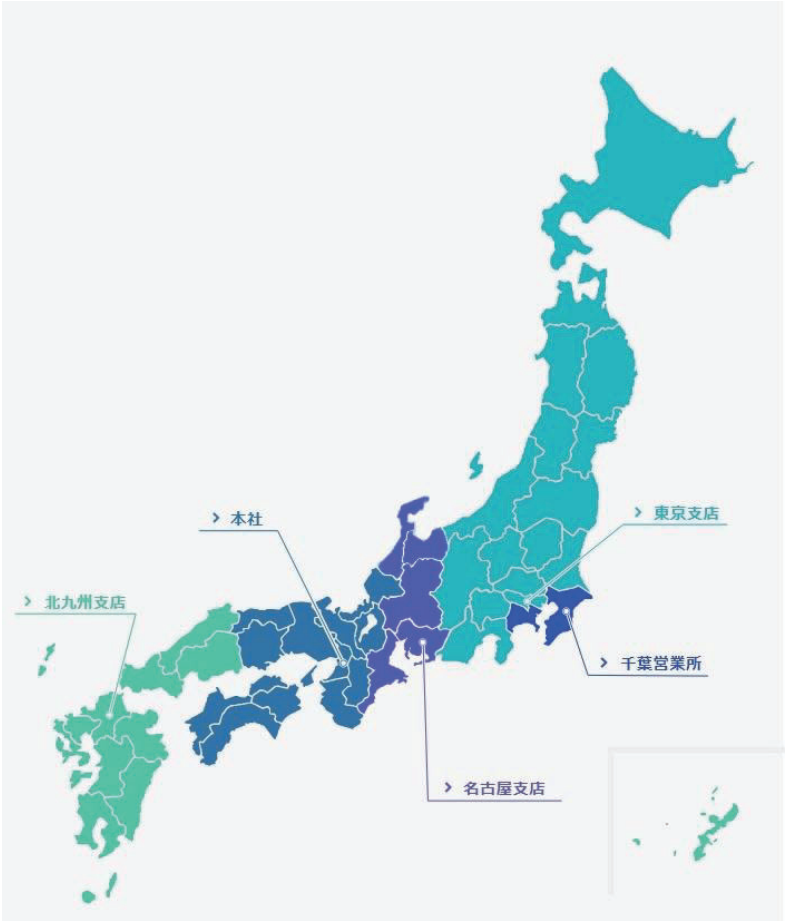
＜日阪の強み＞

- 1958年、ステンレスの加工技術を活かして、国内初のボールバルブを開発。
- 汎用品だけでなく、低温用、高温用、高圧用、Ｙ型３方ボールバルブをはじめとする特殊用途のボールバルブも開発・販売。
- ＰＦＡライニングのダイヤフラムバルブは気密性・耐食性・耐久性に優れる。

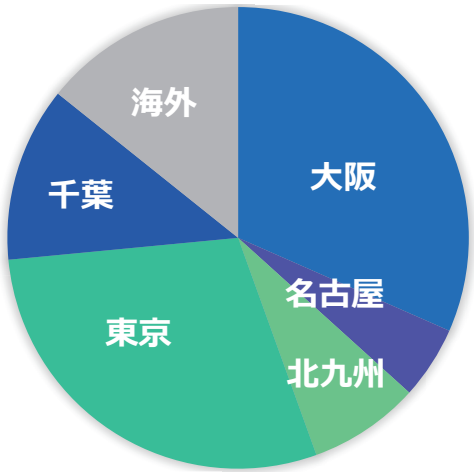
All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

13-②. 販売体制の強化に対する取り組み（バルブ事業）

バルブ事業の国内販売体制



バルブ事業地域別受注
（日阪製作所単体・2020年3月期）



東京支店と千葉営業所で
受注の４割を占める。

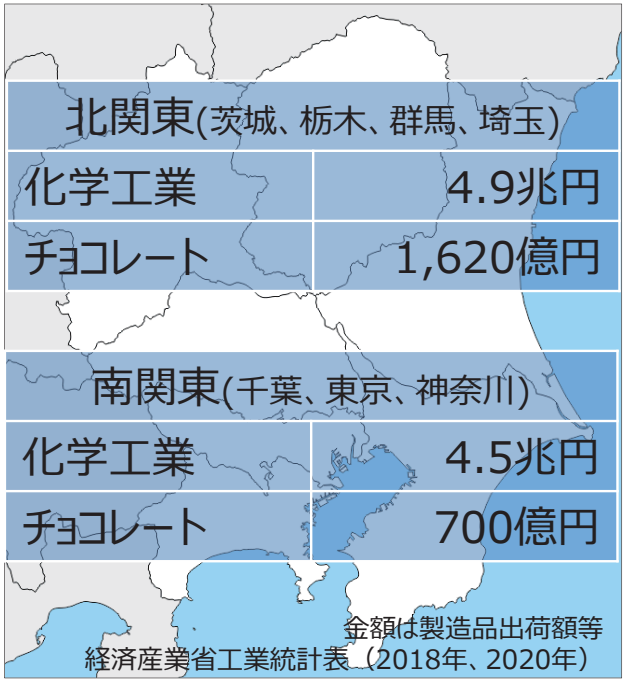
●本社、３支店、１営業所の５拠点で、地域特性に合わせた販売活動を展開。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

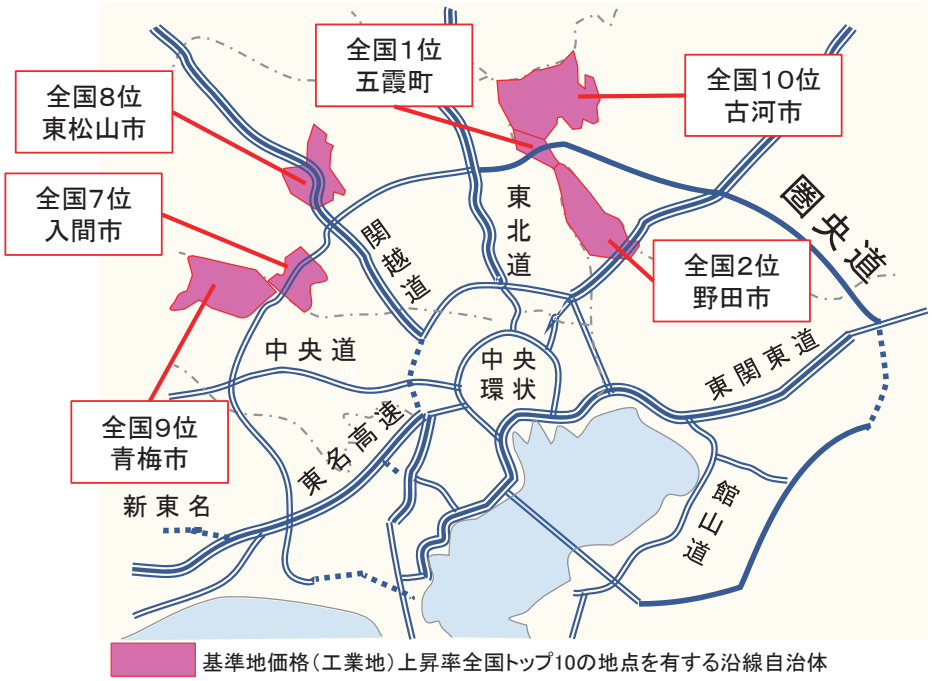
13-③. 販売体制の強化に対する取り組み（バルブ事業）

北関東（関東内陸部）には多くの工場が立地

北関東はバルブ事業の重点市場である
化学工業やチョコレートの生産が活発



首都圏中央連絡自動車道
（圏央道）の整備により工場が増加



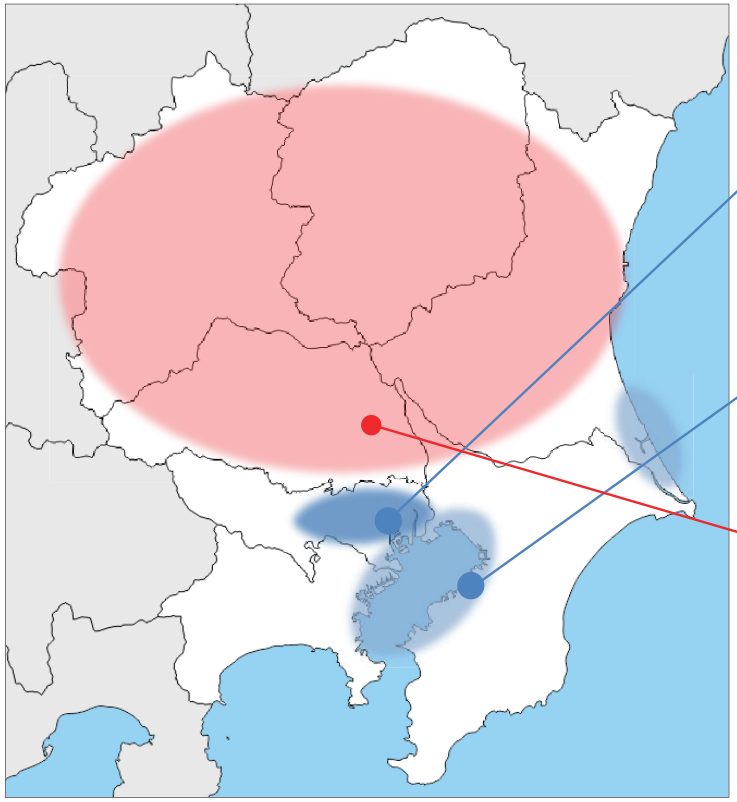
国土交通省「関東ブロック新広域道路交通ビジョン」より

- 化学メーカーの主要工場、チョコ菓子メーカーの工場などが立地。
- 主要代理店の本社、拠点も多く立地している。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

13-④. 販売体制の強化に対する取り組み（バルブ事業）

さいたま営業所を開設予定（2022年4月）
１支店２営業所で顧客密着営業を展開



●東京支店

プラントメーカー、国内代理店向け営業、
関東３拠点の統括

●千葉営業所

コンビナート（京葉、京浜、鹿島）を中
心としたユーザー開拓及びメンテナンス

●さいたま営業所（予定）

北関東地区の主要工業団地ユーザー
開拓及び同地域の代理店向け営業

●2019年に開設した千葉営業所は化学業界を中心として順調に結果を出している。
●各地域の特性に合わせたきめ細やかなサービスを展開。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

14. 生産体制の強化に対する取り組み

拠点の拡充に加え、
基幹システムやＤＸ導入により、生産能力を拡充

新事業所（生駒事業所）の開設準備

- プロセスエンジニアリング事業の生産体制を新事業所へ移管。

既存事業所（鴻池事業所）の再構築

- 熱交換器事業、バルブ事業の生産体制強化に向けた再構築。

基幹システムの構築・刷新

- 社内の営業～調達～製造～販売を一元的に管理する基幹システムの刷新。

ＤＸ、ＩｏＴを取り入れた機器、システム、サービスの開発

- 遠隔サポート、メンテナンス体制の提供など。

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

15-①.（参考）TV番組のご紹介

ＴＶ番組で日阪製作所の強みや取り組みが紹介されました

【番組名】知られざるガリバー ～エクセレントカンパニーファイル～

【放送日時】2021年9月4日（土）18:00～18:30

【放送局】テレビ東京系列6局ネット

【内容】●プレート式熱交換器の強み、導入事例（ＣＯ２回収プラント）

●食品殺菌装置の強み、導入事例（レトルトカレー製造プラント）

●新しい殺菌システム「LC PACK」の紹介

【ネット配信】テレ東BIZ

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

15-②.（参考）所属アスリート情報

当社所属アスリートが東京パラリンピック2020入賞

中村　智太郎 （パラ水泳）	
混合200mリレー (運動機能障害)	予選９位
男子100m平泳ぎ (運動機能障害SB6)	８位入賞

櫻井　杏理 （車いすフェンシング）	
女子エペ個人 (障害B)	６位入賞
女子フルーレ個人 (障害B)	１１位

All Rights Reserved, Copyright ©HISAKA WORKS, LTD.

＜お問い合わせ先＞
㈱日阪製作所　経営企画本部 経営戦略部
WEB：https://www.hisaka.co.jp
e-mail：ir@hisaka.co.jp
TEL：06-6363-0015
〒530-0057
大阪市北区曽根崎2-12-7 （清和梅田ビル20階）

株式会社 日阪製作所（ひさか）

～ロゴマークの由来～
日本の「日」とステンレス（STAINLESS）の「S」を組み合わせデザインした。また、丸い形は成熟を表しており、豊かな人間性をもって社員と製品がともに成熟していくようにという願いを込めている。

～社名の由来～
日本の中でも商いの町の代名詞である大阪のような活気あふれる会社になりたいとの願いを込めて、日本の「日」と大阪の「阪」をとり、「日阪製作所」と命名した。

（注）本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想に達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合を確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。